

Nutrition Support Times

実践チーム医療! NST 2大イベント大成功!!

兵庫NST研究会

去る11月28日の土曜日、兵庫医大平成記念会館で第12回兵庫NST研究会が開催されました。当院は幹事として東別府チェアマンの開催の挨拶から始まり、チームメンバーで壇上でのNSTの活動を披露しました。

無事終了することができたのはメンバー個々の熱い気持ちのおかげだと感謝いたします。

当日会場には150名ほどの参加者が集まりました。本格的に取り組もうとしたのが3ヶ月前で、当日の練習もいろいろとつまずきながら一時はどうなることやらと本番を迎えました。テーマは2題、熱傷と嚥下。2つのチームでそれぞれ企画

神戸スワローズ

12月12日土曜日、第2回摂食嚥下研究会「神戸スワローズ」が当院で開催されました。近隣の12施設32名の方々に集まっていたいただき盛会のうちに終了できました。地域施設の皆さんのこの会への期待を感じ、今後も協力をしながら地域連携をより深めていければと思うයි。よろしく願いいたします。さて、今回のテーマは嚥下食と口腔ケアをとりあげ、その実際を聞くことにより各施設での認識が違うのか、ということで嚥下食については神戸リハビリテーション病院栄養科主査の太田さんに、実施されている嚥下食の実際について具体的なお話をいただきました。急性期病院と回復期病院では扱う状態は違えど、各施設においての嚥下食についての考えはそれほどかけ離れていないように思えました。そして、当院からは栄養管理室の岩本さんから嚥下食ピラミッドの紹介をしてもらいました。嚥下食のレベルを段階別に説明し、サンプルを用いてその違いを確認してもらいました。各施設との

共通認識を持つための第1段階と考えています。そして、前回アンケートで一番皆さんが知りたいと言われていた、口腔ケアの話を、常盤短期大学の上原弘子先生に熱く語っていただきました。歯科衛生士の視点からみた口腔ケアということで、入院中の難しい症例への対処方法など大変勉強になりました。歯科衛生士さんがいない施設もあり、その場合は看護師さんや言語聴覚士さんが口腔ケアを担当しているようです。しかし、やはり専門の方にアドバイスしてもらえることは、的確で患者や病院にとっても大きなことだと思います。多職種による協力体制をつくることは、もっと理解されなければいけないことだと思います。座長をしていただいた神経内科の荒木先生も、チーム医療としての重要

遅くまで東別府先生を中心に山本師長、検査の山城主査、管理栄養士の船越主査、薬剤師の西岡さん、田村さん、そして有岡みんなまで夜遅くまでがんばりました。最終日に夜勤続きでやっと休みだった井上先生も参加しセリフあわせができました。が最後の最後まで不安を残し当日を迎えました。結局がんばったかいあってか本番は2テーマとも無事終了し、好評を得ることができました。これをまたひとつのきっかけとしてNSTは今後も飛躍していきたいと思えます。みなさんありがとうございました。



あのおもうすぐ本番ですが...



NCM 講演会予定		
月日	内容	担当
1/28	脂質代謝	東別府先生
3/4	感染と栄養について	武庫川女子大 雨海先生
3/25	呼吸器の栄養	立川先生
4/22	未定	未定

NSTカンファレンス・回診
毎週水曜 pm1:00~8 北(861)NSTカンファレンスルーム

性を、口腔外科の西田先生も歯科衛生士の必要性を強く感じておられました。またこの会の代表であるNSTチェアマン東別府先生も、地域の多職種の力を合わせられるようにするにはどうすればと、この会を運用されています。各職種が互いにそれぞれ地域における連携をとることができれば、継続した円滑な治療ができて、患者さんにとっても安心した医療が受けられることになるので、この会を充実したものにできればと考えています。今後とも皆様よろしくお願いいたします。



性を、口腔外科の西田先生も歯科衛生士の必要性を強く感じておられました。またこの会の代表であるNSTチェアマン東別府先生も、地域の多職種の力を合わせられるようにするにはどうすればと、この会を運用されています。各職種が互いにそれぞれ地域における連携をとることができれば、継続した円滑な治療ができて、患者さんにとっても安心した医療が受けられることになるので、この会を充実したものにできればと考えています。今後とも皆様よろしくお願いいたします。